



下田市出身御法川修監督作品

# 人生、いろいろ

全国各地で数多くの感動を呼んだ作品が下田で楽しめます

映画、「人生、いろいろ」は下田市出身の映画監督、御法川修氏が手掛けた作品です。長い人生の中で一度も主役になったことのない女性たちが、料理のわき役である「つまもの」との出会いを通じて輝き出す姿を描いています。

昨年の秋に公開され、話題を呼んだ本作品が市民文化会館で上映されます。

### ●人生いろいろ下田市上映会

日時 2月22日(金)・23日(土)

- ①午前10時 ②午後1時30分
- ③午後6時30分

場所 市民文化会館 大ホール

料金 前売り券 大人1,000円  
 当日券 大人1,500円  
 小中高生800円

※チケット売上の一部を、東日本大震災の被災地に寄付します。

問合せ先 市民文化会館 ☎ 5151

## インフルエンザの流行が拡大しています

### 「うつらない」「うつさない」ための

## うがい 手洗い 咳エチケット



静岡県では、今年に入り、インフルエンザ流行のおそれがあります。インフルエンザは感染力が非常に高く、毎年10人に1人は感染していると言われています。

日常からしっかりとした予防をおこない、健康的な身体を保ちましょう。

### 感染を防ぐには感染経路を断つことが重要です

人が多く集まる場所から帰ってきたときは手洗いをこころがけましょう。石鹸やハンドソープを使って最低15秒以上手のひらだけでなく手の甲、指の間や爪の間、手首までしっかり洗いましょう。洗った後は清潔なタオルなどで十分にふきとります。アルコール消毒液で手を消毒するのも効果的です。



### 咳エチケットとは

人に向って咳やくしゃみをしないこと。とっさに出そうなときは周囲の人から顔をそらし、用意があればティッシュなどで口、鼻を覆ってください。咳やくしゃみが続くときはマスクを着用してください。



### 日ごろからの健康管理も大事です

栄養と睡眠を十分に取り、抵抗力を高めておくことも発症を防ぐ効果があります。

万が一、38度以上の熱があり、せきやのどの痛み、全身の倦怠感を伴う場合はインフルエンザの可能性があります。その場合には早目に医療機関を受診しましょう。

予約・問合せ先 健康増進課健康づくり係 ☎ 2217

河津桜の季節がやってまいりました。本家河津町はもとより、南伊豆町の桜も年々素晴らしいものになっています。彩の少ない冬景色の中の鮮やかな風景は人々に暖かさや元気を与えます。

下田市にも河津桜が各所に咲いており、両町のよくな観光資源としては弱いところではあります。

しかし、河津桜見物の観光客の皆様が行きに帰りに下田に寄り、まち歩きを楽しんでいただいています。

開国の歴史と美味しい「食」が目的です。この季節のキャッチフレーズは「両手に花の美味しい下田」です。

豊かで美味しい山海の幸、お店での技と人情のおもてなしを駆使することが必要です。その中で「食や食文化を商品というカタチにする」こと

## 快国航路



が重要です。これは、発見・創出・研磨された食や食文化を目に見える、誰もがわかる観光資源にすることです。

そのためには、コンセプトを明確にし、ネーミング、マークなどのシンボルを作ること、メニュー、マップ、パンフレット、体験プログラム、着地型企画旅行などを創っていかなくてはなりません。

それは、様々な業種間での協働が必要で、行政、マスクミ、商工業者、大学、研究機関との連携も重要です。

まずは、一人ひとり、一産業一産業がもつと自分の力を高め、それぞれの連携、協働、循環を築くことが必要です。

力ある点、価値ある点を沢山作り、それを線にし、面にしていくことが「まちづくり」です。

漁協の「きんめ缶詰」ができました。商工会議所の「きんめ魚醬」もあります。キンメダイの豊富な料理法や商品が提供されています。

地域一丸、官民一体となったブランド化戦略が観光力を高め、地域経済を高めます。

下田市長 楠山俊介

## 北方領土の日をご存知ですか



### 「知る事」が四島返還の第一歩

(平成24年度 北方領土問題対策協会 標語最優秀作品)

昭和56年(1981)、北方領土問題に対する国民の関心と理解をさらに深め、全国的な北方領土返還要求運動の一層の推進を図るため、政府は2月7日を北方領土の日と定めました。

### 下田において条約が結ばれました

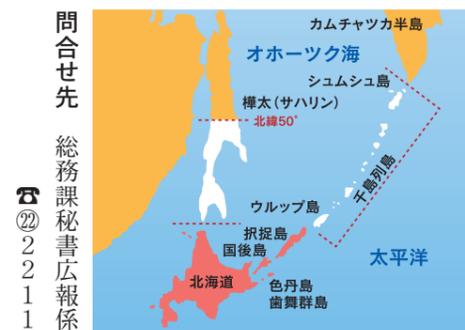
嘉永7年(1854)10月、ロシア使節プチャーチンが乗った「アライオン」が下田に航しました。彼らの目的は日露北方国境の画定と開港でした。

11月に入り第1回の条約締結交渉が福泉寺において開始されましたが、翌日、安政の大地震による大津波により、

下田は壊滅的な被害を受けました。交渉はこのような状況で第2、3回は玉泉寺で、第4、5回は長楽寺に場所を移し、1855年2月7日、長楽寺において日露通好条約が締結されました。

この条約で両国の国境を択捉島とウルップ島の間で定め、択捉、国後、色丹、歯舞の4島は日本の領土とし、ウルップ島から北の千島列島はロシア領とすることが確定しました。また、樺太は両国民混住の地とされました。

この歴史的な意義と、平和的な外交交渉によって領土の返還を求める北方領土返還要求の趣旨から2月7日は「北方領土の日」として最も適切な日とされたのです。



問合せ先 総務課秘書広報係 ☎ 2211